

みみょう幼稚園だより



令和2年4月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

ご入園・ご進級おめでとうございます



いよいよ新しい春のはじまりです。今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大という、大変な状況からのスタートとなりました。しばらくの間は、様々な場面で、ご協力をいただくこととなりますが、幼稚園におきましても最大限の努力を重ね、子どもたちにとって、楽しくて夢と希望に溢れる一年にしていきたいと思えます。変更のあるものにつきましては、きつずノートを活用し、速やかに連絡をして参ります。職員一同、細心の注意を払いながら、力を合わせて頑張ります。ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

『感謝と思いやり』のある『自主的な行動』のとれる子に

みみょうの教育目標です。人の中で育つからこそ、育まれ伸びていく大切な力であり心です。砂場で遊んでいる子どもたちを想像してみましよう。年少さんが手元にあったシャベルやバケツで遊び始めました。自分の物、自分の一部となり、砂の感触や特性を味わいながら嬉しそうに遊んでいます。おとなりで遊んでいるもう一人の子どもがシャベルに気付きました。こちらもいいものがあつたと取り上げて、遊ぼうとしました。取り上げられた方の子どもは、当然取り返そうとします。大事な自分のあそびを継続させるために、シャベルでたたいたり、引っかいたりしてしまうかもしれません。二人とも泣いてしまうかもしれません。初めて幼稚園という集団生活に臨むお子さんたちにとって、ご家族以外の他者、しかも同世代のライバルを認識する大事な大事な瞬間です。先生たちは、それぞれの気持ちをやさしく聞き取りながら、相手の気持ちや、どうやって遊んだらいいかを一緒に考えていきます。そうしたあそびの時間を繰り返しながら、時にほめられ、時にいさめられて、譲り合うことの尊さや、我慢し合うことによる達成感などを体感し、一緒に遊ぶことの楽しさが味わえるようになっていきます。人の気持ちが分かることは、自分の気持ちを大切にすることにつながります。自分自身を大切にできることは自主的な行動の原点になります。決して一人では育たない力です。また、言葉や理屈で身につけていけるものでもありません。毎日のあそびの積み重ねが、子どもたちを大きく逞しくしていくのです。年中では、もっと友だちを意識し、年長では、自分たちで集団を高めることができるようになっていきます。同じ砂場のあそびでも、造形的な要素や、科学的な視点も見られるようになっていきます。幼児期の成長や発達を、大事に丁寧に促していくことが、生涯にわたる人間形成の土台となることは、多くの研究においても証明されています。

一人ひとりのお子さんが、将来、夢や希望に向かって、しっかりと歩みを進めていくことができますように、本年度も、豊かなあそびを子どもたち主導となるように、工夫を重ねながら提供をしていきたいと思えます。

園長 三上 玲子